

教科書： 高校現代社会（実教出版）

副教材： アプローチ倫理資料 PLUS （とうほう） 2021 新政治経済資料三訂版（実教出版）

学習目標

本校の公民科の目標

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

第6学年の目標

人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方・生き方について理解と思索を深めさせ、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

学習方法

- (1) 各授業におけるテーマについての解説や説明を行う。
- (2) ノートに必要事項を整理したり、教員の発問に答える。
- (3) 説明された事項に関して思考し、質問する。
- (4) 学んだ内容について整理して、まとめる。

評価の観点・方法

以下の4観点に基づき、生徒一人一人の学習状況を單元ごとに評価をします。

観点① 社会的事象への関心・意欲・態度	社会の事象や課題について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。				
観点② 社会的な思考・判断・表現	社会の事象や課題について、その背景や原因、問題点を論理的にまとめ、発表をしようとしている。				
観点③ 資料活用 of 技能	資料や文献を多面的な角度から分析資料や文献を多面的な角度から分析しようとしている。				
観点④ 社会的事象についての知識・理解	社会の事象や課題について、その特色や意義を知り、相互の関連を理解し、その知識を体系化し、活用する。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	学習態度の観察	○	○	○	
	課題などへの取り組みと提出物	◎		◎	○
	授業内テスト	○			
	定期考査		◎		◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・現代政治の基本原則について理解し、その歴史的変遷と今後の課題を理解する。 ・日本国憲法の構成原理とその現代的意義と課題について理解できる。 ・現代日本の政治機構の仕組みと役割について理解できる。 ・政治参加と民主政治の今後の課題について考察できる。	①政治と法 ②民主政治の歴史 ③民主政治の基本原則とその展開、比較政治体制論 ④明治憲法と日本国憲法 ⑤基本的人権の保障 ⑥憲法と平和主義 ⑦国会の権能とその役割 ⑧内閣と行政機構 ⑨裁判所と人権保障 ⑩地方自治と住民自治	
2 学 期	・現代の国際政治の状況について理解を深めることができたか。 ・国際社会の課題と今後の日本の役割について考えることができるか。 ・倫理分野の学習と政治経済問題演習について、共通テストを前にして積極的に取り組むことができたか。	①国際社会の形成とその歴史的展開 ②国際社会と国際法 ③国際社会の組織化（国連 EUにおける統合） ④戦後国際政治の展開 ⑤核兵器廃絶と軍縮問題 ⑥地域紛争と民族問題 ⑦日本の国際的地位と今後の役割 ⑧源流思想 ⑨西洋思想 ⑩世界の宗教 ⑪東洋思想 ⑫日本の思想 ⑬近現代思想 問題演習	
3 学 期	・現代社会の諸課題について、学習した倫理・政経の観点を生かし、自己の進路決定ともからめて考えることができるか。	共通テスト直前問題演習	

学習のアドバイス

- 授業を受動的に受けるのではなく、さまざまな事項を理解し、疑問をもって、積極的にそれを解決しようとする態度が求められます。資料集などを参考に、時事問題を積極的に考察しよう。
- 授業に臨むにあたっては、常に社会で生じている事象に関心をもつことが大切です。
- 日常から、新聞を読んだり、ニュースを見たり、可能な限りさまざまな分野の書籍を読むことが大切です。
- 自己が獲得した情報を使って、自ら判断し、思考し、考えをまとめる訓練をすることが大切です。その際、自分が考えたことを小論文・文章などにまとめ、他者に発表する表現力を養っていくことも大切です。